



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

第2号/2018-2019年度 BULLETIN

第2号/2019.2発行

京都部部長主題	Will the Circle Be Unbroken 永遠の絆	京都部部長	川上 孝司	京都パレス
西日本区理事主題	未来に残すべきものを守り育てる Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future. めぐり逢う一筋の光 Seek Your Encounter with a Ray of Light	西日本区理事	遠藤 通寛	大阪泉北
国際会長主題	'Yes, we can change.' 「私たちは変えられる」 スローガン 'Courage to challenges' 「挑戦への勇氣」	国際会長	Moon Sang-Bong	韓国
アジア太平洋地域会長主題	'Action!' 「アクション!」 スローガン 'With Pride and Pleasure' 「誇りと喜びをもって」	アジア太平洋会長	田中 博之	日本

第23代京都部部長 川上 孝司 京都パレスワイズメンズクラブ

Will the Circle Be Unbroken 永遠の絆



2018～2019年度京都部23期上半期のあゆみ

7月27日、安平知史国際交流ファンド主査を中心に国際交流懇談会を企画し開催。西日本区中井国際・交流主任から「国際・交流事業、ファンド事業について」のご講演を賜りました。

8月、韓国の麗水クラブスポンサー第73回国際大会では、今だ40万人以上の犠牲者を出し続けるマリアを2030年には撲滅しようという取組にて公演いたしました。皆さんのRBM献金が国際協会を通じ蚊帳の購入に使われています。

8月18日19日にはサバエキャンプ場でソラシドキャンプが行なわれました。あすを夢見る子供達に大きな希望とするプログラムです。

8月24日に山口EMC主査企画による京都部EMCフォーラムでは、「新生ワイズ起こし運動」のプレゼンがあり、小野西日本区EMC主任の入会退会の傾向と問題などの提起がありました。

9月9日、第23回京都部部会はワールドワイズをテーマにプリンスホテル京都にて開催。海外、西日本区、東日本区から参加数460名「世界のワイズメンの絆は永遠です」の思いを持って開催。オープニングではIBC先で私が作曲した『ノースウエスト・ルートファイブ』の生演奏で入場。2部では佐藤弘樹様によるワンポイントイングリッシュの講演。3部ではゴスペルグループ、各クラブ会長と共にテーマ曲「永遠の絆」を合唱。また京都パレスクラブ、東京グリーンクラブ、熱海クラブの3クラブDBCトライアングル締結式。同時開催のメネットアワーは137名の参加者。「京都命の電話協議会」の中瀬会長の講演、フルート奏者「園城三花様」による演奏も素敵でした。

9月23日京都YMCAサバエキャンプ場を一層充実させるため各クラブが集結、収益性を探るため決起した取り組みが行なわれました。

11月11日には京都北文化会館にてワイズデー事業とし「京都ふれあいフェス2018」を開催。京都部が主催し、京都市、京都YMCAが共催企画となりました。館内で京都部各クラブがふれあい広場を設け物品販売、ゲーム、アピールコーナー等を催しました。京都市担当の演奏や踊り、コーラス。ホールでは「たんばほハウス」のステージ紙芝居と長谷川きよしさんのコンサートを楽しんでいただきました。多くの京都市民の皆様にご参加いただきました。



部役員

次期部長 島田 博司

京都ウエストワイズメンズクラブ

前回、第1回の部報を書かせていただいてから早いもので半年がたちました。

この半年間、次期部長としてたくさんの貴重な経験をさせていただきました。

そして次期については準備三役会・準備役員会等次期役員さん達に助けられ着々と準備を進めることができていると思っています。ですが会議を進めれば進めるほど課題や決め事の多さに毎回気付かされています。川上部長期もこうした準備のもとに半年がすんだんだなあとあらためて部長や現京都部役員さんに敬意を表する次第です。いよいよ、次期まで半年を切りました。まだまだこれからいろいろなことについて話し合わなければなりません。今以上に気を引き締めてギアを一段あげ、残り半年、準備に臨みたいと思います。皆様、下半期もどうぞよろしくお願いいたします。



監事 廣井 武司

京都プリンスワイズメンズクラブ

部の役員として最後の仕事が監事ということで毎月の役員会に出席させていただいています。川上京都部部長のもと、キャビネットのみなさま、事業主査、委員長のお働きに感謝いたしております。

ワイズデーを中心に前期は見事なチームワークで事業を展開されました。役員会での真剣な討論に西日本区、京都部、そして各クラブの立ち位置を考えさせられました。

500名を超えるメンバーを有する京都部ですが、この時期気になることも存在します。クラブの中心で活躍していたメンバーがクラブを去っておられることです。その理由はわかりませんが残念なことです。どうか退会される理由が悲しいわけでないように願います。

後期もいろいろ事業が展開されますが、クラブを中心により良き地域社会を築くために力を合わせて楽しく活動していきましょう。



直前部長 竹園 憲二

京都ZEROワイズメンズクラブ

早いもので、今期も下半期に入りました。上半期では部長公式訪問や部会、ワイズデーと川上部長並びに各主査の皆さん、部会のホストクラブの皆さんも大忙しだったと思います。何かを作り上げて行くことや準備や調整など、皆さんのお力添えがあって成り立っていくものだ皆さんの活動を見て改めて感じました。

準備の大事さ、コミュニケーションの取り方など、ワイズメンズクラブは本当に勉強になります。楽しい一年だったなと思える時こそ、周りの人に支えられた一年であったなと実感させてくれます。本当に感謝できる自分を見つけた時、本当の幸せを感じることが出来ると思います。

私は直前部長としてあまりお役には立ちませんが下半期も上半期の思いを持って部の活動に従事していきたいと思います。



統括連絡主事 藤尾 実

京都YMCA

昨年7月に始まったワイズメンズクラブ京都部川上部長期も半年が過ぎました。日頃よりYMCAの諸活動にご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

京都YMCAは、今年、創立130周年をむかえます。YMCAの使命を担ってきた先人たちの熱い思いと、京都の地でYMCA活動を理解し、協力いただいた地域のみなさまのお支えのおかげで、130年の長きにわたって活動を続けることができました。そんな地域のみなさまを対象に、京都市とYMCAと共催で、11月におこなわれたワイズデー“ふれあいフェス”開催は、京都部全クラブが、ワイズメンズクラブの地域奉仕・環境活動、YMCAをアピールする貴重な機会となりました。

YMCAのブランドスローガンであります「みつかる つながる よくなっていく」 これからも、地域、そして世界が「よくなっていく」取り組みをワイズメンズクラブメンバーのみなさんと共にすすめてまいりたいと思っています。これからの半期もどうぞよろしくお願いいたします。



書記 小林 千春

京都パレスワイズメンズクラブ

京都部書記の話があったときは気軽に引き受けました。「クラブ書記よりは断然ラクだろう」と。

しかし、23期京都部がキックオフすると、何か事情が違います。よくよく確認すると、クラブ例会×2、クラブ役員会、クラブドライバー委員会、クラブ50周年委員会、京都部役員会、京都部三役会と、ワイズ活動を真面目にしていると、月間平日5日×4週=20日のうち、少なくとも7日をワイズ活動に捧げていることが発覚しました。

ワイズ活動は犠牲の上に成り立つものではありません。楽しいところに人は集まる、自分も楽しまなければならない。トータルとして、楽しいからこそ20分の7をワイズ活動に捧げているわけですが、計画性も大事だと振り返る上半期です。

そして、上半期は、京都部の事業、事務作業、その他様々なことについて、クラブ会長様を始め皆様にご協力賜り誠にありがとうございました。これからの下半期についても、次期の足音が聞こえてくる中で種々の事業等がごぞいます。個人的には、引き続き、川上部長カラーを前面に押し出せるよう陰に日向にお支えすると共に、23期京都部へのご協力とお付き合いをお願いいたします。



書記 福井 正太

京都パレスワイズメンズクラブ

書記を務めさせていただき早いもので半年が経ちました。何もかもが未経験で勉強になることばかりです。他クラブのメンバー、部の役員の方々、色々なことを教えて下さいます。上半期は行事ごとが沢山ありましたが、京都部全クラブの皆さんのお力のおかげでやってきました。ありがとうございます！ 下半期もまだまだ大切な行事はあります。引き続き京都部の皆さんのためにお力になればと思っています。下半期の運営も常に緊張感を持って頑張ります。どうぞ御協力の程よろしくお願い致します。



会計 安達 雅直

京都パレスワイズメンズクラブ

23期が始まり早くも半年が経ちました。この間、部のキャビネットとして経験することは初めてのことが多く、改めて京都部の事業や役割、その運営について理解を深めることができました。また川上部長は、ワイズ活動に対して熱い思いをお持ちなので、京都部の皆様には、上半期に行われた部会やワイズデーなどの大きな事業の中で、部長主題「Will the Circle Be Unbroken」を感じていただけたのではないかと考えております。

下半期にも、上半期同様まだまだ事業がおこなわれます。京都部のお金を預かる金庫番としてお金の徴収・各種支払、そして決算報告までしっかりと会計業務をこなし、次期へ引き継いでいきたいと考えております。

残り半年と短い時間ですが、23期京都部をよろしくお願い致します。



事務局長 山本 一博

京都パレスワイズメンズクラブ

まずは滞りなく上半期を終えられたこと、皆さまに感謝申し上げます。

中でも各クラブ会長の皆様には、連日の様にメーリングリスト経由でお願いやらお知らせを連発して申し訳ありません。メールを送る方はそれだけで済むのですが、受けていただく会長各位には、数字をまとめたり文章を書いたり、クラブ内に告知して参加を募ったりと、それこそ休む間もないことと思います。各クラブの活動を支援する筈が、逆に足を引っ張ってはいないかと心配しています。

そんなこんなで何かとご迷惑をお掛けしていることと存じますが、下半期は少しでも改善し、皆さまのお役に立てる様に頑張って参ります。引き続き何卒よろしくお願い致します。



事務局 爲國 光俊

京都パレスワイズメンズクラブ

1の裏は6。サイコロの目には表と裏がありますが、一メンバーからの立ち位置で京都部を見ると、運営側として関わるのでは大きく違います。その運営側の最たる方々が、部長はじめ主査のみなさます。京都部18クラブが会長をトップにリーダーシップを発揮されながら独自性を持って活動をされておられますが、そのサポートをおこなわれ、部としての全体の繋がりを作っていく。その活動こそ、奉仕の精神の原点ともいえるのではないかと思います。やはり、「組織は人」であることを学びながら、事務局として皆様にお役に立てるよう、下半期もよろしくお願い致します。



事業主査

主題 理解し、そして次に伝えよう

YMCAサービス・ユース事業主査

松崎 和彦

京都トゥービーワイズメンズクラブ



皆様、こんにちは。日頃からYサ活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。以下、上半期を振り返りたいと思います（以下が活動の全てではありません。念のため）。

まず、Yサ事業は2018年6月24日のリトセン夏期開設ワークから始まりました。9クラブ約110名の皆様に参加していただきました。続いて7月1日と8日にはサバエ夏期開設ワークがありました。延べ11クラブ、120名以上の皆様に参加していただきました。8月18日から19日にかけてはサバエキャンプ場にて青い空と白い雲のキャンプが行われました。9月2日にはリトセン秋期準備ワーク、9月3日にはサバエ夏祭りが行われました。11月18日にはリトリートセンターにてオートムフェスタが行われました。サバエ夏祭り、オートムフェスタともにたくさんの方に来ていただき、大成功でした。ありがとうございました！

こうして振り返ってみると、リトセンとサバエでの活動が多いですね。Yサ事業なので当たり前といえば当たり前ですが。上半期には、無事にYMCAのサポートが出来たのではないかと考えております。

下半期もYサ事業は続きます。引き続きよろしくお願いいたします。最後になりましたが、部長公式訪問に随行した際、暖かく迎え入れてくださった各クラブの皆様、ありがとうございました。

主題 「TEAM KYOTO」～共有し更なる奉仕を！

地域奉仕・環境事業主査

吉岡 幸次

京都パレスワイズメンズクラブ



早いものでもう半期が終わりました。期が始まり先ずは部長公式訪問随行として各クラブに参加させていただきました。どちらのクラブも楽しく有意義に例会をされており、私自身が感心させていただく事が多く大変勉強させていただきました。

京都部CS事業を振り返ってみますと、京都北文化会館にて11月11日に開催いたしました「ワイズデー」。今期はフェス形式で、ダンスや屋外ライブやコンサートを開催し、各クラブの活動PR、YMCAとは、ワイズメンズクラブとは何かを沢山の一般の方にアピールができたのと、各クラブが率先して、地域奉仕活動や環境事業をされておられるのを再確認出来たと思います。それと、京都のワイズメンの団結力を実感できるイベントにもなったと思います。皆様有難うございました！

あと半期ですが、まだまだ各クラブに関わっていきたいと思っておりますので、是非お声掛けください。また、2月にはCSチャリティーボーリングも開催されます、こちらも盛り上げて支援につなげたいと思いますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。

主題 クラブ生命の無限性～魅力のあるクラブを作ろう！

京都部600名にむけて、プラス10%の会員増強を目指そう～

EMC事業主査

山口 雅也

京都キャピタルワイズメンズクラブ



主査主題「クラブ生命の無限性～魅力のあるクラブを作ろう！～京都部600名にむけて、プラス10%の会員増強を目指そう～」を掲げ、メンバーが満足できる魅力あるクラブ作りを今期の目標としています。前期は、部長公式訪問の随行で7クラブ、その他入会式など3つのクラブの例会を訪問しました。8月にはEMCフォーラムを開催しました。

EMC主査になり感じたことは、どのクラブも会員増強やメンバーシップ強化のために、実に様々なEMC活動をされているということです。それは、ゲスト強化例会であり、親睦BBQであり、他クラブを巻き込んだ100人例会や、合同例会などです。魅力あるクラブ作りの原点はやはりメンバー間の親睦だと思います。それぞれの、社会で活躍している職業人が、その場に集うことから新しい出会いが生まれ、触発される想いが生まれます。それはワイズという社交界であり、かけがえの無い活動の場に参加しているにほかありません。経験豊富なメンバーと新しく活動を始めたメンバーが手を携え信頼を基にした育ち合いができる、そんな場所が自らのワイズメンズクラブであればどんなに素晴らしいだろう。そんな理想を少しでも分かち合える後期の活動にしていきたいと思います。

主題 世界に広げよう！ワイズNetwork！

国際・交流事業主査

安平 知史

京都ウエストワイズメンズクラブ



第23期京都部がスタートし半期が過ぎました。まずは在京クラブ会長の皆様！

国際交流事業へ積極的なご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

この半期、京都部役員としての役員会などに加え国際交流ファンド事業懇談会の開催、そして部長公式訪問、各部会の随行など、盛り沢山でアツという間に半期が過ぎたのが感想です。国際交流主査と

してIBCやDBC締結の推進、各種献金のご協力のお願い、在京クラブのファン商品やイベントなどの情報共有といった3本柱で活動して参りました。今期は7月にIBC締結が1組、9月にDBCトライアングル締結が1組ございました。あと数クラブIBCやDBC締結予定と伺っており、しっかりと西日本区・国際交流事業中井主任と連携してサポートさせていただきたいと考えております。今後の事業としては、使用済み切手の提出依頼、5月くらいに第2回国際交流懇談会を開催する予定です。これからの後半戦も引き続き積極的に国際交流主査として活動を続けていきたいと考えております。在京クラブの皆様、引き続き国際交流事業へのご支援ご協力をお願いいたします。

主題 負の連鎖から「笑顔の連鎖」へ

メネット事業主査

岡西 博司

京都プリンスワイズメンズクラブ



9月の京都部会と同時に起こったメネットアワーでは、京都部内のメン・メネットを始め部外からも大勢の方が来ていただき（総勢137名）本当に感謝でした。「いのちの電話」との出会いが、私自身にとっても多くのワイズの方々にも、どのように影響を与えてくれるのか、ある意味、期待しています。

今期、当初からメネット会の在り方を考えなければならない時期に来ているように思っていました（メネットとメネット会は違うんだ、と私は思っています）。そこで、各クラブの皆様には、メネット会が有ろうと無かろうと、新しいCS事業が一つ増えたくらいの思いで関わって欲しいということをお願いしております。少しは理解していただけたでしょうか。

後半は、今期の西日本区からのテーマとして「こどもの貧困、虐待」にどう関わっていくか？ と言うことですが、京都においては、関わっておられるクラブもほとんどない状態です。そこで少し視点を変えて「いじめ問題」を取り上げてみたいと思い、ちょうどYMCAも取り組んでいる「ピンクシャツデー」をメネット事業のテーマにさせていただきました。横浜YMCAでは、このピンクシャツデーの取り組みを活発に行っておられます。行政とのタイアップ等本当に素晴らしい働きであると思っています。是非この機会に京都でもこの運動を拡げていきたいと思い、横浜YMCA総主事の田口様に講演をお願いいたしました。少しでも、この運動を理解してもらい、いろんな場所で各ワイズメン・メネットが拡散していただけると、本望です。

新しいメネット事業を模索しながら、意義ある活動をして行きたいと思っています。あと半期、応援宜しくお願いいたします。

主題 光を・・・もっと、光を！

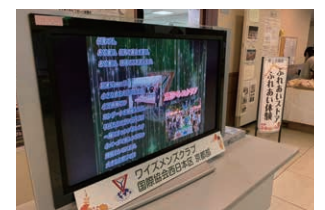
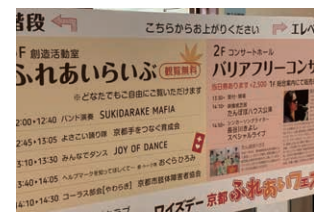
PR委員長

東田 吉末

京都トップスワイズメンズクラブ



皆様、日頃よりワイズダム活動のご尽力に深く感謝申し上げます。不慣れな私を委員の皆さんで担いでいただきまして何とか半期を過ごすことができました。ありがとうございます。今期も京都部は、沢山の活動やイベントがありPR委員会でも取り上げさせていただきましたが、中でもやはり委員会の一番はCS事業委員会と共同開催をした“Y's day”ではないでしょうか。長谷川きよしさん・タンポポハウスのバリアフリーコンサート、各クラブのCS活動発表ブースや、来訪者とふれあえた縁日ブース。多くの方々にワイズメンズクラブを知ってもらえたかなって感じております。中でも京都部の活動などを集約したDVDを製作し館内のモニターに映したところ、多くのワイズメン達が足を止め微笑みながら見入って下さいました。その微笑は各クラブご自分たちの活動が映像や文字になって流れるのを見て誇りに感じておられるからだと思います。これからもワイズメンは、奉仕活動しながら多くの仲間の輪を広げていく。そんなところにスポットを当ててPRをして行きたいと思います。もちろん各クラブも多くのイベントや活動もアピールをして京都部全体の活性化によって、一般の方々にもワイズメンズクラブの認知度UPに寄与したいと思います。



Y'sday

各クラブ会長

会長主題 「やってみたいより、何かをやろう」 ～ Put thoughts into action! ～

京都ワイズメンズクラブ 相原 隆幸

京都ワイズメンズクラブの会長になり、色々な取り組みを行っているうちにあっという間に半年が過ぎました。まだまだワイズメンズクラブについて理解出来ない事は多いですが、半年間で各部会・他クラブの例会参加と週2～3回京都YMCAと色々な場所に足を運ぶようになり去年より成長できていると実感は沸いています。目標としていました新事業の開発はクラブメンバーやその他の方々の協力もあり上半期ではYMCAサービス・ユース事業にて、YMCA三条保育園の遠足支援をおこなうことが出来ました。リトリートセンターのグリーンチャペルで収穫祭をおこなっている間に飯盒炊爨での昼食を準備させていただきました。下半期にはDBCであ

る三島クラブとの交流会、京都YMCA国際福祉専門学校日本語科の学生との懇親・交流会、YMCA三条保育園での演劇を支援、クラブ内の交流をより深めるEMC野外例会などを予定しています。会長方針としていた継続可能な新規事業の開発、永く楽しめるクラブづくりにはこれからも課題は多いと思いますが、クラブ内でだけでなくYMCA全体の方々との交流によって実現していけるように努力していきます。



会長主題 『先意承(せんいじょう)問(もん)』“Being proactive” 気持ちを察し「知恵」と「行動」を

京都パレスワイズメンズクラブ 大森 夏彦

期初に大きな課題の一つとして挙げました『京都部部会のホストクラブ』としての実行は、京都部内の各クラブ・メンバーをはじめとする多くのワイズメンのご理解とご支援を受け、盛会に終えることができました。川上孝司京都部部長輩出クラブとしても、積極的な活動への参加によりワイズメンとしての意識が高まる契機になりました。

各事業の実施状況は、自クラブから輩出している吉岡幸次地域奉仕・環境事業主査も中心となる『ワイズデーふれあいフェス』や熱海クラブと東京グリーンクラブとの『DBCトライアングル締結』をはじめ、各委員長の下に協力メンバーが参集し、計画していた事業を実施する事ができ感謝しております。中でも、春に運営が始

まった『YMCA三条保育園への看板寄贈』は、私としても形に残る事業として感慨深いものとなりました。

また、新たなファンド事業として、ワイズメンバーの事業所が行う小売電力事業所とのパートナー提案を受け、開始することとなりました。本事業は、電力契約により、その売上の一部をクラブファンドに計上する仕組みとなっております。この『電力ファンドの仕組み』を円滑に運用することができれば、自クラブ以外へもお薦めする事ができるのではないかと考え、今後とも推進していく予定です。

最後に、これからの下半期もクラブ会長として、YMCA並びにワイズメンズクラブの発展に尽力していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



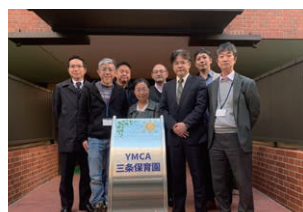
和敬地蔵盆



京都部部会



サバエ開設ワーク



三条保育園看板寄贈



トライアングル締結

会長主題 人とつながる。次世代に向けて。

京都ウエストワイズメンズクラブ 林 正章

京都部23期・ウエストクラブ39期はサバエの開設ワークから始まり様々な活動を行ってきました。上半期は天候、天災に悩まされた印象です。そんな中でウエストメンバーは、一致団結して例会、そしてさまざまな事業に取り組んできました。今期会長としてはメンバーがより親密に、また新しいメンバー・入会者もすぐになじんで頂けるような雰囲気を作りメンバー丸となって活動できるようにしてきました。上期の例会、YMCA・CSの活動ではその成果が見られたと思います。EMC例会では入会希望者も出ましたし、自クラブの宣伝もできたと思います。

後期の課題は、やはりメンバーを増やすことに重きをおいて活動

をしていく方向にシフトしていきます。メンバー各自が増強を意識して新しい人とつながっていける雰囲気を作ることが第一と考えます。そのことをいかに設え、続けていけるかが今後の自クラブ、また京都部の強化に繋がっていくことだと思います。まずは一人ずつから始めていくことに注力します。また4月には熊本での周年例会はウエストクラブの例会として、メンバー全員で参加し他クラブと交流、自クラブの親睦を深め、次期の京都部・40周年につなげていきたいと思っています。



EMC例会



ウエスト、洛中、みやび
合同例会



ウエスト、ZERO合同例会

会長主題 『一肌脱ぎますわ』 新しい世代へ

京都めいぶるワイズメンズクラブ 坂下 昌史

2回目の会長をさせていただくにあたり、1回目の時よりも何か違う様な形のクラブ作りが出来ればと思い期がスタートしたが、早半年が過ぎ下期に突入していききました。めいぶるクラブのキックオフ例会は恒例のサバエワーク、入口ゲートの組み立てと旗台ポール立てがメイン作業ですが、例年参加メンバーも少なく他クラブの協力のもと無事完成しました。7月第2例会総会は事業計画・予算と承認をいただき本格的な36期スタートです。

8月第1例会は恒例の納涼例会。「しょうざん」にての納涼床。ゲスト2名も参加いただき、その内の1名が入会となりました。第2例会は川上部長公式訪問例会、9月第1例会は京都部会、第2例会は納涼例会にお越しいただいた林正樹氏による14年間に亘るアフリカでの活動の講演、10月第1例会はジャガイモ例会、第2例会はめいぶる恒例のファンドに繋がるオークション例会、11月第

1例会はワイズデー、第2例会は支援先の方々をお迎えし支援金の贈呈式と現況報告をしていただき、12月は多くのコメントやマゴメットが参加しクリスマス例会をし、楽しいひと時を過ごせました。慌ただしい半期を終え、下期はメインでもあるめいぶる35周年を迎えます。この周年例会は通常のホテルではおこなわず、福岡・博多の地でDBC締結している熊本ひがしクラブと開催いたします。「めいぶるクラブ35周年記念例会・熊本ひがしクラブ15周年記念例会・DBC締結10周年記念例会」と題しおこないます。山川35周年実行委員長の下、この記念例会を成功させたいと思っています。今後も宜しくお願いいたします。



YOU・友Festa



サバエ

各クラブ会長

会長主題 『未来創造』 ～35年の歩みに感謝 新たな一步を踏み出す～

京都キャピタルワイズメンズクラブ 吉井 崇人

今期キャピタルクラブ上半期は、記念例会という大きなイベントを皆様のご協力をいただき開催することができました。

大きく見えるところは記念例会となりましたが、それを通し今期主題の「未来創造」を本当に考え意識し行動をとってきた結果だっ



クリスマス例会集合写真

たかなと思います。EMCでは2名の新入会員を迎えることができ、現状では後半に向けても良い情報を確認しているところではあります。

上半期、記念例会を通じ来て下さる方に向けどうするべきかを考えた「未来創造」ですが、下半期は、私たち京都キャピタルクラブが私たち自クラブのために本気で「未来創造」を考え答えに近づけていくための時間になればと思っております。そして、EMC今期目標7名です。クラブ活性化のため必須だと思います。必ず、達成したいと思っております。

先日、次期の三役発表・次々期会長も決まりました。私個人的には、次期以降にできるだけ良い形でバトンを渡せるよう、ひとつひとつ丁寧に進めてまいりたいと思っております。キャピタルクラブは下半期も元気にうるさくやっていますので、よろしくお願いいたします。



会長主題 出会う・つながりあわせる・よくしていく Encounter, Connect and Go well

京都プリンスワイズメンズクラブ 宇高 史昭

半期は本当に早いもので、正月が折り返しになります。平成最後の年の会長を半年務めさせていただくこともこの上ない光栄と感じています。

さて、プリンスクラブは、2年後に35周年を迎えます。そこで、今期はクラブの活動の基本コンセプト「将来を担う子供たちの成長を支援する」新しい事業立ち上げを目指して、Yサ・ユース事業、CS環境事業、そしてこれらの事業資金を獲得するファンド事業に力を入れています。また、活動を支えるためにメンバー倍増を目標においたEMC交流事業、また新メンバーを活動や例会へ誘えるよ

うな企画をドライバー、活動を新メンバーに紹介できる会報を作成してもらうようブリテン広報、各事業委員会が一体となって「出会う、つながりあわせる、よくしていく」を意識して、活動に取り組んでいます。35周年で「よくしていく」ということが少しでも実感できる活動が出来ればと願っています。新しい元号も楽しみです。



会長主題 「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」 ～成らぬは人の為さぬなりけり～

京都センチュリーワイズメンズクラブ 大槻 信二

年齢と共に、月日の経つのが早くなると言われますが、その通り、あつと言う間の前半期でした。センチュリークラブは、月例会を月に1度しか開催していないので、他の2度開催されているクラブの皆さんに比べ、行事に対する余裕もあるはずなのですが。

7月キックオフ例会では、再入会ではありますが、待望の入会式をおこないました。8月は、台風真っ只中の納涼例会、サポートしている白川学園の夏祭りもありました。9月は、京都部会が振り替え例会ですが、その他にも各部の部会や、チャーターナイトに参加、リトリートセンターの秋季準備ワークで汗を流しました。10月は、今期初めての通常例会を開催いたしました。11月は、キャピタルクラブさんの35周年、リトリートセンターオータムフェスタ、例会は、エイブル、みやび、東稜、ウェルの各クラブさんとの5クラブ合同例会を開催。そして12月は、クリスマスファミリー

例会と言う、それこそあつと言う間でした。

京都部では恒例の最後に近い部長公式訪問も、1月に落語での初笑いと共に参加の皆さんに楽しんでいただくことができました。

後半期は、少し落ち着いてとも思うのですが、過去にセンチュリークラブから、片山コメットをSTEP生としてカナダへ送り出したこともあり、4月に、スリランカからのSTEP生、Miss. Pahaniさんのホストクラブとホストファミリーを引き受けさせていただきます。2007年のドイツからのSTEP生、Patrick Simon君を引き受けてから随分間が空いたので、準備に万全を期したいと思っています。



会長主題 「Self improvement」 ～次世代へ発展するウイングクラブへ～

京都ウイングワイズメンズクラブ 佐藤 昌利

上半期の活動を終えて、感想一言「早かったけど、色々あったなあ」と思います。その中で、会長就任後7月6日から8日にかけてウイングメンバー、メネット22名で台中グレートビジョンクラブとのIBC締結をしました。このとき会長スピーチは勉強をして台湾語で行いました。その結果、発音訂正の声や笑いが会場中からあふれ一体感の中、台中の皆様と距離が近くなったと思います。また、昨年中止となっていたIBC締結先の金浦クラブとのキムチ漬け事業も再開し11月2日から4日に訪韓しました。金浦クラブのメンバーにおもてなしを頂き、今後の方向性など打合せを行い、絆の大切さを実感するIBC活動となりました。

また、ウイングクラブでは、サバエの灯を消さないという思いの中、今期サバエ委員会を立ち上げ、北川委員長のもと、サバエキャンプ場の収支改善を3年計画にて取り組む1年目としてがんばって

おります。昨年は新規のガレージ設置、出入り口の拡張や台風による被害の修繕、秋祭りの開催など、多くのメンバーがキャンプ場に足を運ぶことになりました。

下半期では、台中グレートビジョンクラブのメンバー8名が3月10日の全国車いす駅伝大会サポートの協力の為、来日予定です。現在、山内委員長をはじめ、ウイングメンバーが受け入れのため準備をしており、IBC交流は今期、引き続き行われる予定です。最近では次期の準備も始まりましたが、32期もマラソンに例えると、折り返しを少しまわったところですが、会長副題「次世代へ発展するウイングクラブへ…」ということで、次期会長へ良い形でバトンを渡せるよう、ラストスパート頑張ってます。



各クラブ会長

会長主題 出合いを大切に

京都洛中ワイズメンズクラブ 竹内 俊樹

洛中ワイズメンズクラブ第31代会長職を拝命し、早くも半年が過ぎ去ってしまいました。

7月24日、つばさ園の子供達と一緒に桂川にかかる松尾橋の下で花火大会を開催したのに始まり、この半年間、メンバーと共に色々なプログラムをおこなってまいりました。9月には、サバエ秋祭りのイベントで鉄道模型電車を走行と体験乗車で楽しんでいただきました。又、DBCを結んでいる富士五湖クラブがホストする富士山5合目開催する富士山部名物部会に日帰りで参加させていたたりと、異例のスタートをしておりました。一方で、なんとなく会長として例年と同じような流れで活動しているようで少し反省しています。

下半期からの洛中の活動ですが、前年度よりスタートしました介

助犬の支援があります。愛知県長久手市シンシアの丘にある介助犬訓練センターを中心として各地で介助犬を広める活動をされている方々のお手伝いをしようとしています。4月のEMC例会ではメンバー候補のゲストに参加していただき、介助犬協会の方たちのよるデモンストレーションをご覧頂きたいと考えています。この活動が今後、洛中クラブCS活動の大きな柱となる事を願っています。

残すところ6ヶ月と短い期間ですが、京都部の部長をはじめ役員の皆様のご支援、ご指導及びメンバー皆様のご協力を得て会長職を遂行して参りたいと存じます。



会長主題 ゆっくりと確実に ～楽しみながら～

京都エイブルワイズメンズクラブ 白濱 廣史

今期もあっという間に前期が過ぎてしまいました、この半期で何が出来たのかと考えてもあまり浮かんできません、と言うか、私がこの前に会長をさせていただいた時は例会が月に2回あったのですが、今は月に1回例会なのでフォーマルで緊張感のある例会場での通常例会が減ったことが理由にあるのかな？メンバーとは少なくとも週一で会ってはいるのですが、前期での例会で印象に残っている例会の一つは5クラブ合同例会があります。今回で2回目になるのですが、今年はウエルさんにお世話いただき大変楽しい例会になりました。やはり一番の例会はクリスマス例会でした。今年も自クラブの例会場でおこなったのですが、今年は予約してあった場所が例会場の都合で、ととても豪華な結婚式の披露宴専用の会場です

ことが出来たのです、メンバー数は15名ほどですが40名位の人数となりました。子供だけで15人は来ていただけたかな？例年通り、会長の私がサンタクロースとなって子供達と女性にプレゼントを渡すのは何回やっても恥ずかしいけど楽しいことです。後期も持ち出し例会が多いのですが、出来れば勉強会の例会を持ちたいと思っています。メンバー増強に付いては前期で1名、後期では1名の入会が決まっているのですが、目標の3名達成を目指してEMC委員長並びにメンバーと共に頑張りたいと思っています。



会長主題 Go Beyond 一歩ふみだして さあチャレンジ

京都グローバルワイズメンズクラブ 松浦 秀樹

上半期を終えましてグローバルクラブでは若い4名の新入会員を迎えることができました。また下半期に新たに2名の入会者が決まっております。初委員長にかかわらず積極的にEMC活動をおこなっていただいている結果が出てきて大変うれしく思っております。

他の委員会も活発な活動をしてきています。ファンド委員会におきましては、毎月物販販売をおこなっていただき早くも目標数字に近づく勢いで頑張ってくれております。

6つの委員会が初委員長で今期をスタートさせていただき、当初は不安でしたが、半期を過ぎてきますと全員が前向きで失敗を恐れ

ず色々なことにチャレンジしてくれて例会自体も大変活気があります。当初会長標語に掲げさせていただきました『Go Beyond』一歩ふみだしてさあチャレンジという言葉通り、新しい風を吹き込み、前を向いて進んでおります。ベテランメンバーからも温かく見守っていただき良い雰囲気が出ております。

残り半期ですが三役・委員長一丸となって乗り越えていきたいと思ひます。



会長主題 続・みやび創成 = まずはプラスONE =

京都みやびワイズメンズクラブ 浜田 晋

日に日に時の流れが早く感じられ、既に上半期を振り返る時期となりました。クラブでは例年行事はもとより新たな会員を1人でも増やそうという気持ちやクラブ維持の危機感はあるものの引き続き厳しい状況ではあります。私自身、会長職を仰せつかけながらもほとんど出席もできておらず旗振り役としては恥ずかしい限りです。しかし集まった時の和気あいあいとした雰囲気があり、メネットやコメット、そして他クラブの方々との交流や合同例会等をしていく中では「絆」、「仲間」の大切さや尊さを感じることもあります。近年続いている災害、毎日のようにニュースで流れる家族内で子供が

被害者となる、いたたまれない事件、今一度、私達が人間としての慈愛、奉仕の精神というものを見返す機会ではないのでしょうかと思います。クラブでの活動は仕事や住まいや環境によって分け隔てることのない仲間の交流の場であり人間力を磨き成長させていける場でもあります。下半期も引き続き例会等を通してクラブの事を情宣していき活動を知ってもらえるように取り組んでいきたいと考えています。宜しくお願いします。



会長主題 The power of human being 交流を通じ、人間力を高めよう！！

京都トップスワイズメンズクラブ 本田 正人

皆さん、こんにちは。京都トップスワイズメンズクラブ第25代会長の本田です。

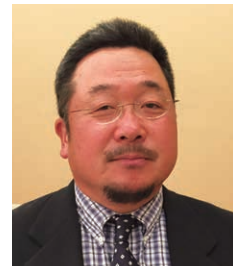
前期を振り返り、今期の会長テーマとして、交流を通じて人間力をたかめよう！を掲げさせていただき、9月には、ゲスト様を30名近くお招きして盛大にEMC例会を開催し、その流れから4名の新入会員を獲得でき、また、交流事業に関しては、IBC締結に向けて台湾区台中エバーナイスクラブと、11月にトップスクラブの有志で台湾に出向き、台中エバーナイスクラブさんと台中ビレッジクラブさんとの合同例会に参加し、7月のアジア大会での締結に向けて意志確認をさせていただき、これからの後期も進めて行

く予定しております。

また、この先、後期に関しては、来期の25周年に向けての内部での取り決めや、その他、進めて行かなければならない項目も山積みで、Yサ、地域奉仕に於いても事業がたくさんあり、ワイズ精神を発揮して克服して行きたいと思っています。

また、今期、川上部長の肝いり献金であるロールバックマラリア献金に関しては、西日本区トップの献金を予定しています。

あと、半年、頑張ってください。



会長主題 脚下照顧 今一度見つめ直そう ～ 答えは自分の中にある

京都トゥービーワイズメンズクラブ 溝口 誠

トゥービークラブの会長をさせていただいて、早くも半期を過ぎました。「脚下照顧」の会長主題のもと、クラブの根本は例会にありということで、今期は特に活気ある例会を目指しました。トゥービークラブは月2回例会を開催していますが、ひとつは講演やメンバー同士の議論など向上心をもって望む例会。もうひとつはトゥービーらしいエンターテイメントを追求する例会。アイデア豊かなドライバー委員長のおかげで「須磨海岸オトナのビーチ例会」「地藏盆例会」「ハロウィン例会」と斬新な企画を打ち出すことができました。めでたいことに11月には2人のメンバーがご結婚されたの

で「合同結婚パーティー例会」も開催しました。今期残りもメンバーみんなで充実した例会を作っていきたいと思っています。

また、6月には西日本区大会のホストが控えています。たくさんのワイズメンに心から楽しんでもらえるよう、京都部の皆さまにご協力いただきながら、こちらもトゥービー同ししっかり準備しますので、ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



各クラブ会長

会長主題 進取（しんしゅ）果敢（かかん）～ 積極的に 自主的に 愉（たの）しむ ～

京都東稜ワイズメンズクラブ 近藤 敦无

今期も半年が過ぎ後半が始まっており、あっという間に一年間が終わってしまいそうですが、京都東稜ワイズメンズクラブでは、チャーター当初より地域奉仕に重点を置いた活動をおこなっており、7月の祇園祭りのゴミの分別清掃で始まり、8月の四宮祭りのゴミの拾い歩き、毎月行っている山科・醍醐周辺のクリーン活動については、相変わらず継続できています。これも毎月々ゲストや家族を誘い参加してくれているメンバーに感謝いたします。

東稜クラブでは、今期3名の会員拡大目標に対して、この半年で既に2名のメンバーを迎え入れることができて、大変うれしく、後

半に…、次期に向けて活動をしていきたいと考えています。

後半半年には、合同例会、DBCクラブとの事業、YMCAの諸事業、西日本区大会と大きな事業も控えている中で、クリーン活動に加え、東稜クラブ独自の例会を今期の主題でもある『進取果敢』を目指し、メンバー一人々が、積極的に多くのゲストをお誘いして、力を合わせて楽しい例会を作り上げていきたいと期待しています。



会長主題 「協働」 ～個人、組織の良い所を出し合おう～

京都ウェルワイズメンズクラブ 中村 典子

まず最初に、メンバーの皆様のご協力のおかげで上半期の事業、並びにクラブ運営がスムーズに終えられたこと、感謝いたします。ありがとうございます。ついこの間今期が始まったばかりだと思っていたのですが、もう半年が過ぎ、あっという間とはこのことだとしみじみ感じております。

期の最初に、「今期はあえて新しいことを考えずに現在ある事業の充実をはかっていきたいと思います！」とメンバーの皆様の前で宣言したのですが、ところがどっこい、新たな試みのオンパレードになり、各委員長はじめ皆様には忙しく事業をこなしていただいたこと、本当に感謝いたしております。HPの開設、サバエ秋祭りへの出店、ワイズデーへの参加におきましては、各委員長の方々から「やりましょう！」と声を上げていただいたこと、本当に頼もしく嬉しい気持ちでいっぱいになりました。それに加えて5クラブ合同

例会のホスト、動物愛護センターチャリティーコンベンもあり、目まぐるしく過ぎていきました。全ての事業が大成功に終わったと自負致しております。後期には新しいメンバーを迎え、クラブ内に新しい風が吹くことをとても楽しみにしております。次々期には中村隆司ワイズを京都部部長に輩出することも決まり、メンバー一同皆様に楽しんでいただける部会を開催出来るよう色々なアイデアを出していただいております。

6月までの半年間、息切れすることなく突っ走り、引き継ぎ例会では「あ～、忙しかったけど楽しい一年やった！」とメンバー全員で笑えるよう頑張りたいと思っております。



京都動物愛護センター花壇整備事業



ソラシドキャンプ



5C合同・EMCアワー・GS

会長主題 クラブ愛をみんなで育てよう！

京都ZEROワイズメンズクラブ 佐古田 正美

まず例会関連では、7月26日にEMCハワイアン例会と銘打って、公式訪問の川上部長ご一行を招待し祇園のピアノバー・プレラ（パレスクラブの岡見ワイズのお店）を借り切っておこなった。ZEROメンバーに加えてゲスト28名にご来場いただき、またEMCの名にふさわしくこの日のゲストの中から数名の新規メンバーが誕生した。8月23日にはウエストクラブと初の合同例会、10月25日には初の100人例会を企画し、メンバーに加えて実に93名ものゲストにご来場いただいた。12月23日にはすっかり恒例となったT o B eクラブとのクリスマス例会を開催した。また振替例会としたびわこ部部会では、今期中締結を予定している長浜クラブとの交流を深めた。

YMCAサービス事業関連では、「食のZEROクラブ」を大いにアピールするべく、サバエ・リボンパーティで新サンマ100匹の塩焼きと炊き込みご飯100食の提供、リトセン・オータムフェスタでの豚ハレBBQ230串の提供をして即時完売。参加者に喜んでもらえたと思う。地域奉仕・環境事業関連では、8月16日に恒例の府立医大子供病棟・大文字送り火鑑賞会でのイベント参加、10月14日の、九条山・日向大神宮の環境維持サポート

（神嘗祭直前の境内清掃ワーク）をおこなった。EMC事業では、前述した各例会が功を奏し、上期だけで3名の新規入会者を得た。下期に入ってからさらに1名の入会が確定する見込みのため、30名体制の確立に向かって邁進する所存である。

ファンド事業では、前期に引き続き「ファンド益100万円」という中規模クラブとしては壮大な計画を立てており、目標必達に向けて邁進する。国際・交流事業関連では、前述したびわこ部・長浜クラブとの今期DBC締結の準備として、10月4日の長浜クラブ例会参加、11月4日のびわこ部部会参加、下期では3月28日の合同例会（予定）を通じて6月の西日本区大会での締結を目指している。7月26日には既存IBC先のハワイ・カイルクラブ、9月9日には既存DBC先の阿蘇クラブとそれぞれ京都市内で交流を持った。ブリテン・広報・文献事業関連では、過去遅延勝ちであったブリテンの定時発行がようやく軌道に乗った。誌面のさらなる充実にも力をいれる。



サバエワーク



ハワイアン例会部長公式訪問



長浜クラブとの合同例会



リトセンオータムフェスタ



府立医大子供病棟イベント参加



保育園夏祭り



ウエストクラブとの合同例会



クリスマス例会



募金

各クラブ会長

会長主題 **楽しもうや 地域・YMCA・メンバーとの交流**

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 柴田 貴史

北京都フロンティアワイズメンズクラブの3期目会長としてスタートし、半年が過ぎました。

今年の「みなと舞鶴ちゃった祭納涼例会」は台風のために中止としました。しかし、当日は台風も過ぎ、地元の「もくもく様」の子供たちを招待し、花火だけを見学してもらうことにしました。YMCAの学校は、場所もよく、見学だけでも喜んでいただけたようでした。花火の見学だけでしたが招待してよかったなと思いました。

来年からは地元の子供たちを中心とした、イベントに切り替えていこうかと思っております。

第3期も半年が過ぎ、課題は山積みです。今年はYMCAの学校とも協力し合い、北京都フロンティアの活動を通して、一人でも生徒が増えるような活動ができればと考えております。

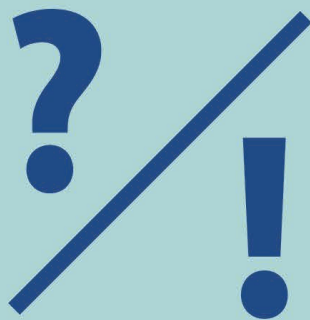


ワイズメンズクラブ国際協会 第22回西日本区大会

2019年6月22日(土)・23日(日)

【大会会場】ロームシアター京都 【懇親会】ウェスティン都ホテル

【ホストクラブ】京都トゥービークラブ



<http://tobe.x0.com/22nd/>

